

平成 27 年度

筑波大学大学院  
ビジネス科学研究科企業法学専攻  
入学試験問題

[小論文]

(2014 年 9 月実施)

**[注意事項]**

答案用紙は、2 枚使用し、裏面は使用しないこと。

## 問題

次の文章を読んで、問1から問3までの設問に答えなさい。

本文については、著作権法により  
公表しておりません。

出典 ロナルド・H・コース著 宮沢健一他訳「企業・市場・法」（東洋経済新報社、1992年）、第7章「社会的費用」第7節「権利の法的な境界画定と経済問題」からの抜粋。本文の一部及び脚注は省いている。

- 問1 筆者が下線部のように解している理由について説明しなさい。
- 問2 訴訟事件での司法上の判断における権利の設定及び制定法による権利の設定について、筆者は、本問題文において、どのような考えを述べているのか説明しなさい。
- 問3 良質な商品・サービスの安定的な供給の確保等のために、特定の事業分野を対象に、許認可等により、事業者の事業活動（事業の開始、提供する商品・サービスの内容、価格設定等）が規制される場合がある。このような法律を制定する場合に、規制対象となる事業者が過剰に保護されることを回避するための方策（法制定段階、規定内容、法の運用段階等における方策）に関し、あなたの考えを述べなさい。